



↑こちらのコードから色鮮やかなカラー版をご覧ください。



水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会
発行 富士見市立水谷公民館 住所 富士見市水谷 1-13-6
TEL 049(251)1129・FAX049(255)9886・✉ fkm-mi@coral.ocn.ne.jp

免許返納を考える

生活に必要な自動車。文明の利器を利用しないという手はありませんが、高齢ドライバーによる事故をニュースで見聞きしたり、実際に遭遇したりすることが多くなりました。今回は、免許更新をした方、様々な事情でリスクを感じながらも免許返納ができない方、近い将来、免許返納を考えている方、返納した方それぞれのお気持ちを伺いました。

編集委員 河野 豊



迷う返納の時期

このところニュースなどで高齢者ドライバーの逆走、事故など頻繁に見聞きするようになりまして。高齢者が全てということではないにしても高いリスクを抱えているのも事実です。私も昨年76才で更新しました。何の違和感もなく更新はしたものの明日は我が身、そんな気が少しずつ頭の中で騒ぎ始めています。

生まれ持った二本の足はまだ働いてくれていますが、それもそう長くはなさそうです。日常の行動が制限される時が目の前にきています。まだまだ大丈夫、自信があるから、いや、もしかしたらと、免許返納のタイミングに迷っている日々を過ごしています。私と同様に多くの方が返納時期に迷っているのではないのでしょうか。これから暫くは悩む日々が続くそうです。



水子在住 Y・K

運転免許更新に思う...

高齢者による交通事故のニュースを耳にするたび、自分はいままで運転してよいのか考えさせられる。満75歳の誕生日を過ぎたら、運転免許更新のため「認知機能検査」を受けるようにとの通知が郵送されてきた。検査は治水橋を渡ったさいたま市の「アンモータースクール」。自家用車を手放した我が家からは、ららぽーと前のバスがベストな手段かと思われた。

しかし、朝9時発の大宮行きのバスが1本のみ電車乗り継ぎという途方もない方法は問題外。当日は自転車で向かったが、思いの外遠い。とにかく、無事に着いたが検査は拍子抜けするほど簡単であった。日時を改めての「運転技能検査」。3日後に受験の枠があり、どうやらそれが一番手近なようで、即予約！他の選択肢は鴻巣まで出かけていく以外ないらしい。3日後、再び自車でアンモータースクールに。10分程度の運転技能検査は満点でひと安心だったが、高齢者講習には大きな疑問が残る。なぜ、短時間で済む試験を同時に行うことができないのか？高齢者に優しい社会は忘れ去られたのか？

柴田 享

返納しました

私が免許証を取得したのは昭和52年で40年以上経ちました。当時は、みずほ台駅がなく主人を志木駅まで毎日送り迎えをしていましたので、みずほ台駅ができた時は、うれしかったです。

私は千葉県香取市の生まれで、よく2人の子供を車に乗せ、実家に帰っていました。その頃は成田空港ができるので、反対闘争をしていて反対派と機動隊が、にらみ合っている中へ私は運転しながら入ってしまい、51号線に入られなくなりました。子供達は、こわがるしどうしようかと思っていました。



末永 敏子

返納を迷っています

私が、免許を取ったのは64年前です。最初に試験を受けた日は朝から雪が降っていて積雪の中、試験車にチェーンを着けての試験でした。結果は見事に不合格でした。あれから64年、色々な車に乗りました。結婚して長女が誕生して、よちよち歩きを始めたころです。私が両大腿骨頭壊死による両股関節機能診断が出るまで6か月以上もかかり、その間、色々な病院に行きました。その後、日大、順天堂と二つの病院で手術をしました。コロナ禍になる前には心臓バイパス、胆嚢(たんのう)の手術と健康そうに見えても歳と共に体力の衰えを感じています。

免許証を返納すれば、あとで後悔するのではないかと心配しています。病院に行くために車が必要ですが、家族からは問題を起す前に早く自主返納した方がいいと催促されています。免許証の期限まで2年あります。返納した時はシルバーカーを考えていますが不安は尽きません。私はこのような状況なので歩くことが困難なため、すぐに車を利用します。返納については考えています。



水子在住 M・S

高齢運転者による交通事故発生状況

*高齢運転者による事故とは、四輪車・二輪車運転中の高齢者が主たる当事者となった事故をいう。

●ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故の割合 (令和5年度)

高齢者以外	65歳~74歳	75歳以上
11,910件中 84件 0.7%	2,233件中 37件 1.7%	1,623件中 46件 2.8%

- 交通事故を防止するためのポイント(ドライバー)
1. 身体能力及び認知能力の変化等を自覚してゆとりのある安全運転をしましょう!
 2. 同乗者もシートベルトを正しく着用しましょう!

